

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年9月6日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：村田広報室長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから9月6日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○村田広報室長 広報室長の村田です。本日、私のほうから御説明させていただきます。お手元の広報日程に沿って説明させていただきます。

まず、あしたの原子力規制委員会ですけれども、議題は5つございます。

議題の1ですけれども、東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所の設置変更許可に関してでございます。

こちらは、令和3年11月12日に提出されました所内常設直流電源設備、いわゆる第3電源でございますけれども、こちらの設置変更許可に関する審査書の取りまとめのほか、経済産業大臣、原子力規制委員会の意見聴取、パブリックコメントの実施の有無についてお諮りをするものです。

議題の2ですけれども、電力会社経営層との意見交換を踏まえた新規制基準手順適合性に係る審査の進め方でございます。

こちらは、8月24日の原子力規制委員会において準備をするように指示がなされていたものですけれども、4月から行っております北海道電力、東北電力、電源開発、中部電力、そして、昨日の北陸電力、それぞれの経営層の方々との意見交換において出されました提案、具体的には早い段階で論点の提示や、公開の場での審査会合の進め方の議論といったものでございますが、これらの提案を5つほどに整理をしまして、それに対して対応方針についてお諮りをするというものでございます。

議題の3つ目ですけれども、原子力規制委員会の令和5年度概算要求及び機構定員要求でございます。

こちらは8月31日に発表してございますけれども、来年度の概算要求、機構定員要求について御報告をするものです。

議題の4ですけれども、令和4年度第一四半期における専決処理報告でございます。

こちらは四半期ごとに定例で行っております専決処理に関する御報告でございます。

それから、最後、議題の5ですけれども、原子力規制委員会職員（研究職）のキャリアパスイメージでございます。

こちらは、これまでも同じようなキャリアパスイメージについて御報告をしております。

すけれども、令和3年6月には技術系の職員について、それから、令和3年11月には総合職及び事務系職員について同じようなキャリアパスイメージを御報告してございます。現在残っておりました研究職に関するキャリアパスイメージを報告するというものでございます。

規制委員会については以上でございます。

続きまして、審査会合の関係でございますが、1枚おめくりいただいて2ページ目、下のほうになりますけれども、9月12日月曜日の（6）第102回特定原子力施設監視・評価検討会でございます。

今回、議題を3つ御用意してございますけれども、議題の1と2につきましては、先週の定例会の最後でも更田委員長のほうから分析能力の維持とか耐震要求に関する議論の進め方について話が出ておりましたけれども、その関係もございまして、議題の1ですけれども、こちらは福島第一全体での廃棄物などの分析についての取組、体制の強化などについて規制庁のほうから説明をして議論を行うものでございます。

それから、議題の2ですけれども、こちらは、実施計画の変更認可申請が出ておりますので、その審査の状況、特に耐震関係についての議論を行うと聞いてございます。

議題の3につきまして、これまで検討会で出されていた指摘事項に対する回答がなされると聞いてございます。

1枚おめくりいただきまして3ページ目、（7）第21回原子力発電所における電磁両立性に係る対応に関するものでございます。

こちらは、昨年、令和3年12月16日、第17回に同じような会合をやってございまして、今回が2回目となります。

前回以降に、産業界での取組状況につきましてATENA（原子力エネルギー協議会）のほうから報告があります。引き続き状況を確認していくということになりそうですけれども、そういった内容でございます。

私からの説明は以上です。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。